



## 世界の環境活動を支援する「トヨタ環境活動助成プログラム」

### 助成活動報告

#### フィジー海の生物多様性保全マングローブ植林プロジェクト

公益財団法人 オイスカ (東京都)



オイスカでは、フィジー共和国ヴィチレブ島におけるマングローブ植林を1993年から実施。本プロジェクトでは5か村、20haで植林を実施予定で、2012年には4村でプロジェクト導入のためのワークショップを実施。計24名の青年に植林体験を含む研修を行った。また9万ポット(13万本)の育苗活動を経て、各地で植林をスタート。厳しい自然環境と闘い、試行錯誤を繰り返しながら、住民参加型の植林及び維持管理活動を進めている。

### 助成活動報告

#### 森～川～海を結ぶ都市型河川の自然再生

豊かな森川海を育てる会 (兵庫県)



本来の豊かな生物多様性を持つ自然環境の再生・保全活動が進められている住吉川流域において、森の活動(住吉川上流の五助の森での植林活動や東多福山の草原再生・保全活動)、川の活動(魚道設置によるアユの棲みやすい川づくり)、海の活動(貴重な干潟を活かす里海づくり)などにより、森～川～海を一体とした自然再生に取り組んでいる。さらに兵庫県が小学3年生を対象に実施している環境体験学習の教材となる絵本づくりに取り組んでいる。

### 2012年度 助成活動紹介

#### ブータンにおける絶滅危惧種判定能力開発プロジェクト

生物多様性JAPAN (東京都)



東ヒマラヤの生物多様性「ホットスポット」であるブータンには、5,000種を超える植物、約700種の鳥類、約200種の哺乳類が生息しているが、この豊かな生物多様性はこれまで包括的に評価されたことがない。ブータンでレッドリスト研修ワークショップを行い、絶滅危惧種のレッドリスト評価を実施する能力を開発。ブータンに世界レベルの最新ベスト・プラクティス手法による種の包括的評価能力を培うことが、本活動の最終成果となる。

### 2012年度 助成活動紹介

#### 「かるた」から私たちの住む町にいる希少生物を学び自然環境を大切に人づくり

次世代のためにがんばる会 (熊本県八代市)



八代の川や海辺には希少生物が数多く生息しているが、周知、指導方法が確立しておらず、市民に知られていないのが現状。そこで、高校生をメインとした官学民産のプロジェクトチームにより、県内の小・中・高校での環境出前授業など、希少生物を楽しく学ぶ機会を設ける。さらにそこで教材として使用するカルタ3種類(希少生物・希少動物・ふるさとエコカルタすごろく)を作成。環境意識を持った人づくりや、環境保護活動による青少年育成を目指す。

## トヨタ環境活動助成プログラム 2012年度の助成対象が決定!

# 「生物多様性」と「地球温暖化」をテーマに 持続可能な発展を目指す民間活動を支援

トヨタ自動車株式会社が、「環境改善に資する環境技術・環境人づくり」を基本テーマに実践的なプロジェクトを推進する国内外の民間非営利団体・グループの活動を支援する「トヨタ環境活動助成プログラム」。民間企業が環境活動を直接支援する先進的な仕組みとして注目を集めてきた同プログラムの助成決定証授与式が、2012年12月5日に行われた。

### 環境プロジェクトを支援する「トヨタ環境活動助成プログラム」

2012年12月5日、「トヨタ環境活動助成プログラム」2012年度助成決定証授与式が開催された。同プロジェクトは、国連環境計画(UNEP)が「持続可能な発展」のための環境保護・改善に功績のあった個人・団体を表彰する「グローバル500賞」を、トヨタ自動車が日本企業として初めて受賞したことを機に、2000年度からスタート。「生物多様性」、「地球温暖化」をテーマとして、民間の非営利団体などが実施する国内・国外の実践型プロジェクトを対象に支援を行っている。

授与式には、助成団体に決定した海外・国内の19プロジェクトの代表や、

選考委員の1人である東京工業大学の鈴木基之監事が出席。同プログラムの主催者であるトヨタ自動車が、「本年度も、国内、海外から、どれも素晴らしい多くの活動が、このプログラムに応募されました。なかでも、選考にあたった有識者の先生方に高く評価されたのが、採択された19件のプロジェクトです。このプログラムが皆様の目標の達成と環境の課題の解決に役立つことになれば幸いです」と挨拶して開会した。

### 世界50カ国で累計233件の実践型環境活動を支援

「トヨタ環境活動助成プログラム」では、中村桂子JT生命誌研究館館長を委員長とする有識者で構成された選

考委員会により、活動目的の妥当性や活動の有効性、将来への発展性、地域特性との調和性、参加者の協働性などを考慮して採択されたプロジェクトに支援を行ってきた。今年度も、海外支援枠では、「ブータンにおける絶滅危惧種判定能力開発プロジェクト」(生物多様性JAPAN)など9件、また国内支援枠では「『かるた』から私たちの住む町にいる希少生物を学び自然環境を大切に人づくり」(次世代のためにがんばる会)など10件の合計19件への支援が決定。支援対象は今回まで13年間の累計で、世界50カ国の233件にのぼる。

授与式では、前年度の支援対象活動のなかから、「フィジー海の生物多様性保全マングローブ植林プロジェクト」

(公益財団法人 オイスカ)及び「森～川～海を結ぶ都市型河川の自然再生」(豊かな森川海を育てる会)の成果が発表された。また、今年度の支援が決まった19プロジェクトの活動紹介も行われた。さらに式典の終了後には、環境活動を実践する団体同士が顔を合わせる場として交流会が催され、各団体が日常的に困っていることや、その解決方法など、貴重な情報交換が行われた。

### 先進的取り組みとして注目! トヨタ自動車の支援活動

鈴木選考委員は、今回の選考について「国内80件、海外31件、合計111件の応募のなかから、厳正な審議の結果、19件を採択しました。国内プロジェクト

では、支援が決まった10団体中8団体が初の選出。また海外プロジェクトでも、支援対象国としてブータン、ハンガリー、コロンビアの3カ国が加わり、4団体が初めて助成対象となりました。助成を受ける各団体には、ぜひ活動で成果を出し、それを世界に向けて発信していただきたいと思います。そうすれば『トヨタ環境活動助成プログラム』が、世界に対してより大きく貢献できることになるでしょう」と講評を述べた。

「トヨタ環境活動助成プログラム」は、民間団体が国内外で実施する、森林保全・絶滅危惧種保護・環境人材育成などの環境活動を、一企業が直接支援する先進的な仕組みとして注目されている。環境問題の解決を経営の最重

要課題として掲げ、時代をリードする革新的かつ高品質な製品とサービスの提供により、常に社会の持続可能な発展に努めてきたトヨタ自動車。日本を代表する企業が、国内外で行われている地道な環境活動も幅広く支えていることを示すものとして、「トヨタ環境活動助成プログラム」を高く評価する声も多い。

同社では、今後も社会貢献活動の一環として「トヨタ環境活動助成プログラム」を実施。2013年度も4月初旬に同社ホームページ上で詳細が発表され、次回募集が開始される予定になっている。国内外で実践的環境活動への支援を求める民間団体などはもちろん、環境問題に関心を持つ誰もが注目しておきたい企業活動だ。